



経済学部教授
田中 貞夫

す。理解してこそ新しい問題点を発見できますし、その解決方法を探る努力に取りかかれます。

この学ぶことの大切さは、専修大学という港から広い世界に船出してもずっと続きます。それと、周囲の人たちとよく話し合い、議論して、自分の考えを周囲の人に理解してもらい、また周囲の人の考えを理解して、それを比較して、それぞれの視点の違いを発見してください。

日本の、そして人類の将来は、あなた方の双肩にかかっています。戦争の記憶を有する最後の世代に属する者として、その後、今日まで、自由で平和な社会が続いたことの意味をかみしめています。これからも自由で平和な日々が続くことを祈らずにはおられません。



法学部教授
小出 淳一

去りゆく者として、将来を託されたあなた方が、それぞれの分野で社会人としての分担を果たし続け、よりよい社会の形成に寄与してくることを、心から期待してやみません。また、誰もがその分担に容易に加わることができる社会の仕組みが速やかに形成されるよう、祈願しています。



法学部教授
高木 侃

地方の短大にいた私は、専修大学に拾ってもらった

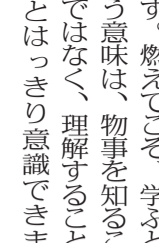
というのが実感だった。そこで私は大学、とりわけ学生に何ができるだろうかに腐心した。結局、何もできなかった気がするが、講義「江戸の離婚」の研究45年。この10年を築いては校歌2番の「世に魁けし我等が大学」の意味を、職員へ感謝、感謝！あり事あるごとに話し、自尊心がとうとうございました。



法学部教授
高橋 清徳

歴史の史料は「証人」のようだとされる。証人は

長い歴史を歩み、飛躍的発展を遂げた近代を経て、地球環境問題に直面する時代に至った。この「現代」ク・ブロックは、歴史家は「質問能力」が問われると、人間史全体を問い直すときではないか。講義「人類史全体を問い直すとき」



法学部教授
古川 純

今年の卒業生の皆さんは「3・11東大」

「Atoms for Peace」を掲げてきた核エネルギー文明からの離脱脱原発への思いを強くしたのでしよう。

専修大学に奉職し、スピードスケートの監督になった。インカレで1点もとれない弱いチームだった。

私の強いチームにしたい気が、さまざまな測定をしながら学生とともに貫き通したが、3年目にして日本一になった。世界で勝った選手が生まれた。いろいろなことがあった35年間で

めこれまでの常識の範囲を超えた新しいトレーニングに挑戦し、周りから「あんなことをして勝てるのか？」などと言われた

ことし専大のキャンパスを去る定年退職の先生方は13人。専大の思い出や学生へのメッセージをいただいた。ほかに、広瀬正克経営学部教授、在職41年。主な担当は「環境論」も定年退職。

大学生4人に1人が「平均」理解できず。2月25日の産経新聞一面の記事、しかし平成13年出版の「分数」が教室で2次方程式の解き方ができない大学生には「信じていたのを思うと慙愧の念に堪えま

じられないでしょうが10人のうち2人は小学生の算数ができます」の見出しがありました。実は30年前に商学部の某教授が米国留学から帰国さ

「失敗」乗り越え頑張ってください！

商学部教授
近藤 正明



原子力は放射性元素という、究極ともいえる化石燃料を使っています。従来の化石燃料が地球上で形成されてきたのに対し、放射性元素は、桁違いに大きなスケールとエネルギーの宇宙規模で形成されてきたもの

「災害越えて人類に寄与願う」

専修大学に在職すること27年。とうとう別れの時が来た。今、私は4年生諸君とともに専修大学を去る。この27年間、よき仲間や学生たちとの交流に悔いはない。微力ながら、ベストは務諸表分析論」

商学部教授
渋谷 武夫



愛する専修大学よ永遠なれ

結びし友の絆 国際的結社を

専大にて結びし友絆を墓場までの結社の創設は如何？ 定年者と教職員、卒業生と現役生、他校や外国の学士有志を募ってSu jet jiddet nor he (Köln 弁)の国際的学士結社を Scientia Amicitia Patria を標語として。

文学部教授
岡野 H 圭一



人間は「社会的存在」です。つまり、社会によって個人はつくられ、個人が社会を創るといって、相互関係にあるということです。今ある社会が絶対ではなく、私たちが変革していくのです。

人間科学部教授
柴田 弘捷



批判精神持つ理想主義者に

専修大学神田校舎という便利な地に勤務させていた

法科大学院教授
岩井 宜子



謙虚にまわりを見つめよう

在職18年。主な担当は「刑事政策」